市政と暮らしを結ぶ情報紙

No.1164 毎月2回発行



2018年 (平成30年) 1月25日発行

2 ……消防白書、災害時要援護者支援制度

■~6……なばり市議会だより

7……2月の二次救急実施病院

8.....ひまわり

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1

63 0595-63-7402

M 0595-64-2560 **■** pr@city.nabari.mie.jp

妊婦さんは普段こんなことを 思っています



2人目を妊娠してから上の子の甘えが強くなりま した。家事がなかなか進まないし、買い物も頻繁に 行けなくて1回で大量に買うのも重くて辛いです。 そんな時、スーパーの店員さんが会計後のカゴを 持ってくれた時は嬉しかったですね。

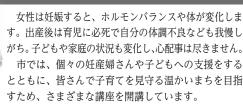
香川 杏美さん&陽菜乃ちゃん

夫は仕事の帰りがいつも遅く、両親も働いて るので日中は私1人。つわりがひどいと家事や 娘の相手ができません。夫がもう少し早く帰っ て来たら助かると思う事もあるけど、休みの日 に率先して家事をしてくれるのは感謝してます。

浦野 季香さん&栞帆ちゃん



まち全体で子育てを支える輪を広げ<u>たい</u>





皆さんのもとへ伺います! 「こそだてサポーター養成講座」

命の大切さや妊娠出産、子どもの発達や接し方など、子育てに関すること を保健師や助産師がお話しする出前講座を無料で実施しています。

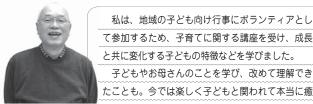
地域の集まりや会社、学校など、どこでもお伺いします。申し込みは、電 話で健康・子育て支援室(☎63-6970)まで。

こそだてサポーター養成講座として実施 「男の子育て孫育て教室」

子どもや家族との接し方の話や上手な抱っこの仕 方、沐浴体験を実習を交えて学ぶことができます。

2月18日日午前10時~午後0時30分

防災センター(鴻之台1)◎申込不要。参加無料



私は、地域の子ども向け行事にボランティアとし て参加するため、子育てに関する講座を受け、成長 と共に変化する子どもの特徴などを学びました。 子どもやお母さんのことを学び、改めて理解でき

され、元気をもらっています。 檜作 憲二さん



目指し、 ラ」を推進し、 土をつくるため「妊婦応援都市」を昨年12月 るみで妊産婦や未来の子どもを大切にする風 実施しながら、 れ目ない相談・支援の仕組み「名張版ネウボ 産婦の意見をもとに、妊娠 - 日に宣言しました 今後、 市では、これまでアンケートをとるなど好 その取り組みの一つとして「こそだてサポ 更にこの取り組みを進め、 子育て支援に取り組んできました。 産み育てるにやさしいまちを 母乳相談や子育て教室などを ・出産 ・育児の切 市民総ぐ

団健康・子育て支援室

産婦や子どもとの接し方などを保健師やの大切さや妊娠出産、子どもの発達、妊 理解を深めていただくものです。 助産師がお話しし、 をまち全体に広げていきます ングをお渡ししています 受講した人にはその証としてホワイトリ ター養成講座」 妊産婦や子どもたちを大切にする を開講しています。 妊産婦や子どもへの 講座を

osodoje

こそだてサポーター養成講座 受講者に渡すホワイトリング



suppor

妊産婦や子どもたちを大切にする「妊婦応援都市」を宣言